

事業報告附属明細書（事業別報告）

法人運営事業

法人運営事業（59,442,743円）

（1）主な収支状況

市補助金（運営補助金）	52,395,987円（収）
会費（団体会員52件、個人会員1,229件、賛助会員26件）	550,700円（収）
ホームヘルプサービス事業から繰入	9,009,116円（収）
共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	1,330,459円（収）
共同募金運動啓発事業助成金	265,000円（収）
人件費	53,076,406円（支）
人件費負担金	3,784,430円（支）
事務所使用料	620,189円（支）
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は4,134,595円）	
社協だより「いきいき」発行費	145,530円（支）
（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は1,261,260円）	
感謝状贈呈にかかる事務費	69,850円（支）
その他法人運営にかかる事務費等	1,745,986円（支）
法人運営事業積立資産への積立	352円（支）

（2）職員構成（令和4年3月31日現在）

▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長	1
センター長	1
事務局次長	1
センター次長	2
総務係	2
地域福祉係	3
生活支援係（ヘルパー、生活支援員を含む）	58
地域包括第1係	7
地域包括第2係	8
合計	84

▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	2
一般職員	14
嘱託職員	16
臨時職員	2
非常勤職員	50
合計	84

(3) 会員加入状況

区分	加入数	会費（年額）
個人会員	1,229名	300円
団体会員	52団体	3,000円
賛助会員	26件	1口 1,000円

(4) 固定資産物品取得状況

固定資産物品	台数
プリンタ	1
シュレッダー	1
ネットワーク接続ハードディスク	1
合 計	3

(5) 寄付物品取得状況（固定資産物品を除く）

寄付物品	台数
レスキューボードベンチ	1
合 計	1

(6) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量
車いす	260
盲人用安全杖	23
プロジェクター一式	2
合 計	285

(7) 情報公開・個人情報保護の状況

▽情報公開請求件数 0件

▽保有個人データの開示請求件数 1件（認知症総合支援事業1件）

(8) 苦情受付状況

▽苦情受付件数 0件

(9) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
橿原市社会福祉協議会地域包括支援センター事業評価	5月10日	橿原市地域包括支援センター及びかしはら街の介護相談室事業評価会議
雇用管理等に関する実態把握調査	10月11日	奈良労働局雇用環境・均等室

(10) 研修生・実習生等受入状況

学校名等	人数	日程	目的（研修名）
奈良県立畝傍高等学校	1	4月9日	橿原市の在宅介護における社会資源について
奈良県医師会看護専門学校	5	6月10日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
	6	7月15日	
天理大学人間学部人間関係学科	1	7月8日～ 10月12日	社会福祉士相談援助実習
奈良県立医科大学医学部看護学科	3	8月31日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について

(11) 後援・協賛等の状況

▽後援

催名	主催	日程
秋の寺子屋 in 安心パーク「ドローンの機能と災害時活用を知る～操作体験を通して～」	橿原市	令和3年10月30日
アングルン音楽クラブ con brio コンサート～つなげよう音もこころも～	アングルン音楽クラブ con brio	令和3年12月4日
第15回赤い羽根歳末たすけあい新作カレンダーチャリティーバザー	社会福祉法人奈良県共同募金会	令和3年12月10日～13日、15日～16日、18日～19日、22日～24日、令和4年1月5日～9日
かしはら みんなの日 見上げてごらん！夜の空を！ Believe in dreams～夢を信じて～	橿原市自治委員連合会、橿原市PTA連合会	令和4年1月10日
第49回近畿ろうあ者体育大会	近畿ろうあ連盟	令和4年5月21日～22日
同志社大学法学研究会 同志社夏季特別法律相談	同志社大学法学研究会 同志社夏季特別法律相談実行委員会	令和4年8月20日

(12) その他

▽橿原青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を締結（4月30日）

▽社協だより「いきいき」の発行

第61号（令和3年7月）、第62号（令和3年10月）、第63号（令和4年1月）、第64号（令和4年4月）を発行（「広報かしはら」に折込）する。

▽ホームページによる情報発信

社協ホームページ <http://ww9.sakura.ne.jp/>

▽奈良県いっせい地震行動訓練に参加（7月9日）

▽一般職員採用試験の実施

令和4年4月1日採用に向けて社会福祉士1名を募集する。

第1次試験日 9月19日

第2次試験日 11月8日

▽健康診断の実施

ストレスチェック（9月21日～30日）28名受検

VDT健康診断（11月11日、25日）12名受診

定期健康診断（1月12日）67名受診

▽感謝状の贈呈

社会福祉の増進に尽力し、その功績が顕著な社協会員等に感謝状を贈呈する。

感謝状贈呈日 11月3日

感謝状贈呈者 50名

▽自衛消防訓練（避難訓練）の実施（2月22日）

役員会等事業（４０，８８４円）**（１）主な収支状況**

ホームヘルプサービス事業から繰入	４０，８８４円〈収〉
理事会・評議員会等の開催にかかる事務費	４０，８８４円〈支〉

（２）理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区 分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	４	２１	５５ （監事含む）
社会福祉協議会評議員会	２	５	２６ （理事・監事含む）
共同募金会樫原支会運営委員会（決議の省略を含む）	３	５	４０ （監事含む）

（３）委員会等開催状況

区 分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	１	３
評議員選任・解任委員会（決議の省略）	１	４
感謝状贈呈審査委員会	１	４
職員採用試験委員会	４	２２
職員衛生委員会	２	１８
共同募金会樫原支会監査	１	３

※監査については、出席理事数を含む。

（４）役員等研修状況

▽理事・監事・評議員合同研修会

※新型コロナウイルスの影響により中止

地域福祉活動支援事業**地域福祉活動支援事業（３，６５０，４７４円）****（１）主な収支状況**

市補助金（事業補助金）	１，５２０，０００円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	１，７３２，５２９円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	４５７，５４３円〈収〉
善意銀行預託金事業から繰入	８５６，０７７円〈収〉
地域福祉基金運営事業から繰入	２８，６４９円〈収〉
小学校区地域福祉推進委員会への助成金	３，２５２，５２９円〈支〉
広報・啓発費用	１４５，５３０円〈支〉
その他地域福祉推進のための事務費	２５２，４１５円〈支〉

（２）各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区において地域福祉活動の中心となり、その充実が樫原市における地域福祉の発展につながることから、同委員会の運営及び活動に対して助成し、支援する。

▽子どもと地域との交流事業

子どもの参加を促し、“食”を通じた地域の交流を促進するとともに、その保護者の参加から次世代の担い手の育成を図る。この取組に対して助成し、支援する。

※新型コロナウイルスの影響により中止

▽“緩やかな見守り”の推進

地域福祉推進委員会と自治会、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を進めながら、日々の生活の中で異変に気付いた場合に、関係団体や専門機関に相談・連絡するといった“緩やかな見守り”を推進する。

(3) 市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内16小学校区地域福祉推進委員会等で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携により、校区間の情報の共有化を図り、地域福祉ネットワークを構築する。

榎原市地域福祉推進連絡協議会実施状況

開催日	内 容	参加者数
8月10日 (書面決議)	議題 (1) 令和2年度事業報告及び収支決算について (2) 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	18

(4) 第4期地域福祉推進計画(計画期間:令和元年度~令和5年度)の中間ヒアリング

▽書面によるアンケート調査・ヒアリング調査等を実施する。

対象 16小学校区地域福祉推進委員会

期間 12月10日~1月21日

(5) コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉推進委員会が実施する活動や事業等へ利用者を送迎するため、社協の車両をコミュニティ自動車として貸与する。

利用状況

車 種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン(10人乗り)	3	26	292

見守り活動支援事業

見守り活動支援事業(1,634,077円)

▽見守り活動支援事業

住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、一人暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を目的とした地域の見守り活動を支援する。

実施団体数 8団体

実施対象者 延21,519名

※新型コロナウイルスの影響により一部の地域で5月、8月~3月の活動を休止

▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者世帯等に対し、ふれあい(話し相手や見守り等)のため、ボランティアによる電話訪問を行う。

実施日 火曜日(午前10時~午後3時)、金曜日(午前10時~正午)

協力ボランティア 延218名 電話訪問件数 延945件

※新型コロナウイルスの影響により5月、2月、3月の活動を休止。4月、6月~9月、1月の

活動を縮小。3月に様子伺いとして、ボランティアによる手書きのメッセージ（はがき）を利用者へ送付

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	1, 6 2 1, 7 3 1 円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	1 2, 3 4 6 円〈収〉
見守り活動にかかる事業費	1, 6 2 1, 7 3 1 円〈支〉
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	1 2, 3 4 6 円〈支〉

ふれあいサロン事業

ふれあいサロン事業（2, 3 2 6, 9 2 7 円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の人を対象に、地区公民館等において体操や手芸などの活動を行い、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防する。

(1) 主な収支状況

市受託金	2, 3 2 6, 9 2 7 円〈収〉
ふれあいサロン活動のための助成金	1, 9 0 3, 5 6 7 円〈支〉
広報・啓発費用	1 6 9, 7 8 5 円〈支〉
その他事務費	2 5 3, 5 7 5 円〈支〉

(2) ふれあいサロン実施状況（於：各地区公民館等）

地区名	名 称	回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	2 2	6 1 0	土曜日 午前9時～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	2 2	4 8 8	土曜日 午前9時30分～午前11時30分
新 沢	新沢地区ふれあいサロン	9	1 4 0	火曜日 午後1時～午後4時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	1 5	2 9 2	土曜日 午後1時～午後4時
晚 成	晚成ふれあいサロン	1 8	3 6 4	木曜日（第5木曜日を除く） 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	1 0	2 5 5	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	7	2 2 4	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 櫃	サロンしらかし広場	1 3	3 0 0	金曜日（第5金曜日を除く） 午後1時～午後3時
耳 成	ふれあいサロン耳成	0	0	月1回開催 開催ごとに異なる
耳成南	耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	1 3	4 1 0	第2・第4日曜日 午後1時30分～午後3時30分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	1 6	3 5 8	第2・第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	4	1 0 8	第4金曜日 午前10時～正午
合 計		1 4 9	3, 5 4 9	

※新型コロナウイルスの影響により感染症対策を講じて実施（中止、開催日時・場所の変更、参

加者の人数制限等)。サロンを中止した地区においても利用者とのつながりや見守りのための取組（ビデオレター、様子伺いの手紙、川柳ボックスの設置等）を実施。開催日時については、通常開催の場合の日時を記載

(3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

※新型コロナウイルスの影響により中止

家族介護者交流事業

家族介護者交流事業（50,000円）

▽要介護高齢者等を在宅で介護している家族の心身の負担を少しでも軽減するため、介護者同士の交流や相談等を実施する。

(1) 主な収支状況

市受託金	50,000円（収）
広報・啓発費用	24,255円（支）
その他事業費	25,745円（支）

(2) リフレッシュサロン

日時 第2金曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健福祉センター南館3階 講座室2

リフレッシュサロン実施状況

名称	回数	延参加者数
リフレッシュサロン	8	21

※新型コロナウイルスの影響により5月～7月の活動を中止

ボランティア推進事業

ボランティア推進事業（2,635,693円）

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	1,304,553円（収）
善意銀行運営事業から繰入	11,150円（収）
ボランティア活動保険加入	998,000円（収）
ボランティア活動保険掛金	998,000円（支）
福祉教育推進校への助成金	1,091,000円（支）
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	237,900円（支）
広報・啓発費用	48,510円（支）
その他事務費・事業費	260,283円（支）

(2) 災害ボランティアセンターの取組状況

▽災害ボランティアセンター運営者研修会

※新型コロナウイルスの影響により中止

(3) 福祉教育推進校（小学校16校、中学校6校 計22校）

▽地域に根ざしたボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う。

小学校・・・耳成、耳成南、耳成西、晩成、鴨公、香久山、畝傍南、畝傍東、畝傍北、白樫北、
白樫南、今井、真菅、真菅北、金橋、新沢

中学校・・・畝傍、樫原、光陽、白樫、大成、八木

▽福祉教育の推進を図るため出前講座を実施する。

福祉教育プログラム実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月13日	対象 鴨公小学校3年生 内容 地域福祉の取組について ふれあいサロンを知ろう！ 講師 地域福祉係職員 鴨公小学校区地域福祉推進委員会 <small>きのしたまさひろ</small> 木下昌寛 氏	37

(4) 保険業務取扱状況

加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額(円)
ボランティア活動保険	183	2,674	998,000
ボランティア行事用保険	38	3,070	91,644
福祉サービス総合補償	3	延485	20,540
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	30	339,036
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	4	延4,075	110,025
合 計	229		1,559,245

補償請求状況

保険種別	件数	補償内容
ボランティア活動保険	4	けがの補償4件
ボランティア行事用保険	1	賠償責任の補償1件
社協の保険	2	けがの補償2件
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	1	けがの補償1件
合 計	8	

心配ごと相談事業

心配ごと相談事業(924,574円)

▽日常生活で生じる心配ごとや悩みについての相談に応じ、適切な助言・援助を行うことで、誰もが
住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。

日時 火曜日 午前9時～正午(受付:午前11時30分まで)

木曜日 午後1時～午後4時(受付:午後3時30分まで)

場所 保健福祉センター南館3階 相談室1

(1) 主な収支状況

市補助金(事業補助金)	708,000円(収)
善意銀行運営事業から繰入	216,574円(収)
相談員報酬等	924,574円(支)

(2) 心配ごと相談状況 (99回開催・相談者92名)

区 分	直ちに解決	再来を要する	民生児童委員を紹介	他機関を紹介	その他	取扱延件数
1 生計					4	4
2 年金						0
3 職業					1	1
4 生業					1	1
5 住宅					8	8
6 家族					11	11
7 結婚					1	1
8 離婚	1				11	12
9 健康					3	3
10 衛生						0
11 医療						0
12 精神衛生					7	7
13 人権						0
14 法律	1				3	4
15 財産					5	5
16 事故						0
17 児童福祉・母子保健					1	1
18 教育						0
19 青少年						0
20 心身障がい者(児)福祉					2	2
21 父子福祉						0
22 母子福祉						0
23 老人福祉					7	7
24 苦情					1	1
25 その他	1				25	26
合 計	3	0	0	0	91	94

※新型コロナウイルスの影響により5月の相談方法を変更(対面相談の中止)

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業(8,790,676円)

▽歳末施設訪問

地域歳末たすけあい助成金、善意銀行への指定寄付及び障がい者等支援基金積立資産の一部を財源に、市内高齢者施設及び障がい者施設に歳末見舞金として配分する。

歳末見舞金

	施設名	配分額(円)
高齢者施設	榎原園	80,000
	かなはし苑	80,000
	桃寿園	80,000
	香久山インパレス	80,000
	榎原の郷	80,000
	ぼれぼれケアセンター白檀	40,000
	バンデ(絆)	80,000
	花檀	40,000

	リンク樫原	40,000
	ケアステージみみなし	40,000
	万葉テラス	40,000
	大和三山	40,000
	鷺栖の里	40,000
障がい者施設	あさひの	50,000
	たけのこ園	50,000
	樫原市福祉作業所	50,000
	ステップあすか	50,000
	生活支援センターはるかぜ	50,000
	スクラム	50,000
	合計	1,060,000

※地域歳末たすけあい助成金760,000円、善意銀行への指定寄付185,752円、障がい者等支援基金積立資産114,248円を活用

(1) 主な収支状況

地域助成金	6,565,269円〈収〉
地域歳末たすけあい助成金	4,139,209円〈収〉
地域助成金の配分（自治会、民協等）	2,016,455円〈支〉
歳末見舞金として配分	760,000円〈支〉
各事業に地域助成金の繰出	2,635,012円〈支〉
各事業に地域歳末たすけあい助成金の繰出	3,354,260円〈支〉
その他事務費	24,949円〈支〉

※令和3年度地域助成金の残額（3,852,465円）については、令和4年度へ繰越

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業（11,429,000円）

▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉の充実や社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行う。

(1) 主な収支状況

県社協受託金	11,429,000円〈収〉
内訳	
生活福祉資金貸付等事務受託金	3,509,000円
臨時特例つなぎ資金貸付等事務受託金	53,000円
生活福祉資金貸付等事務受託金（特例貸付分）	7,867,000円
人件費	9,063,738円〈支〉
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	315,000円〈支〉
事務所使用料	413,459円〈支〉
広報・啓発費用	24,255円〈支〉
非常通報装置の設置	62,040円〈支〉
固定資産取得費（プリンタ外2件）	673,200円〈支〉
その他事務費	877,308円〈支〉

(2) 生活福祉資金相談状況

相談件数 1,403件

内訳 総合支援資金882件

(生活支援費881件(生活支援費3件、新型コロナ特例貸付878件)、
住宅入居費1件、一時生活再建費0件)、
教育支援資金12件、福祉資金30件、不動産担保型生活資金2件、
緊急小口資金465件(緊急小口資金12件、新型コロナ特例貸付453件)、
臨時特例つなぎ資金6件、その他6件

(3) 生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額(円)
1. 生活支援費	959	508,590,000
(1) 生活支援費	—	—
(2) 新型コロナ特例貸付	959	508,590,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	9	4,721,000
5. 福祉資金	4	293,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	409	79,118,000
(1) 緊急小口資金	6	448,000
(2) 新型コロナ特例貸付	403	78,670,000
8. 臨時特例つなぎ資金	5	190,000
合計	1,386	592,912,000

(4) 生活福祉資金償還完了状況

資金種別	件数	償還金額(円)
1. 生活支援費	3	3,300,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	33	29,472,000
5. 福祉資金	10	2,012,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	13	1,360,000
8. 臨時特例つなぎ資金	9	500,000
9. 離職者支援資金	—	—
合計	68	36,644,000

▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、寄り添い、安心・安定した生活に向けた相談支援につなげていけるよう、一時的に食料品の提供を行う。

(1) 実施状況

利用者数 3名

支援食品数 67個(レトルトご飯、缶詰、中華雑炊)

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業（883,365円）

（1）主な収支状況

寄付金	733,093円（収）
歳末見舞金の一部として払出し	185,752円（支）
前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出	697,613円（支）

（2）善意銀行運営状況

区分	事項	件数	金額（円）
収入の部	1. 一般寄付	31	492,697
	2. 指定寄付	33	240,396
	（1）地域福祉のために	15	31,100
	（2）在宅福祉のために	1	10,010
	（3）ボランティアのために	1	10,500
	（4）高齢者のために	1	10,000
	（5）障がい者のために	15	178,786
3. 受取利息		10	
4. 前年度からの繰越金		883,365	
	合計（A）		1,616,468
支出の部	1. 歳末見舞金の一部として払出		185,752
	2. 各事業に払出		697,613
	（1）地域福祉活動支援事業		457,543
	（2）見守り活動支援事業		12,346
	（3）ボランティア推進事業		11,150
（4）心配ごと相談事業		216,574	
	合計（B）		883,365
	差引合計（A）－（B）		733,103

※差引合計733,103円については、令和4年度へ繰越

善意銀行預託金事業

善意銀行預託金事業（856,077円）

（1）主な収支状況

地域福祉活動支援事業に繰出	856,077円（支）
（令和3年度で事業が終了となるため残余資産を地域福祉活動支援事業に繰出）	

地域福祉基金運営事業

地域福祉基金運営事業（28,649円）

（1）主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息	28,649円（収）
地域福祉活動支援事業に繰出	28,649円（支）

（2）地域福祉基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	93,623,652	0	0	93,623,652
合計	93,623,652	0	0	93,623,652

障がい者等支援基金運営事業

障がい者等支援基金運営事業（362,758円）

（1）主な収支状況

障がい者等支援基金積立資産の取崩	400,000円（収）
障がい者等地域活動団体への助成金	200,000円（支）
歳末見舞金の一部として助成	114,248円（支）
法人後見事業に操出	48,510円（支）

（2）障がい者等支援基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	29,540,000	0	400,000	29,140,000
合計	29,540,000	0	400,000	29,140,000

（3）障がい者等地域活動団体の支援

▽障がい者等地域活動団体の事業活動やその運営に対して助成し、支援する。

団体名	助成事業の内容	助成金額（円）
アンクルン音楽クラブ con brio	障害者・児の音楽、余暇活動	60,000
スノーキャンパス	ひとりじゃないよ 発達凸凹子育て	100,000
高齢聴覚障がい者の集い「すみれの会」	高齢聴覚障がい者の交流・ふれ合い	40,000

法人後見事業

法人後見事業（48,510円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人に対し、社協が成年後見人等となり、成年被後見人等の財産管理や身上保護を行い、その権利を擁護する。

（1）主な収支状況

障がい者等支援基金運営事業から繰入	48,510円（収）
広報・啓発費用	48,510円（支）

（2）実施状況

受任件数 2件（後見1件、保佐1件、補助0件）（令和4年3月31日現在）

支援時間数 0時間

相談援助件数（利用者からの相談） 0件

受任状況

新規件数 2件（後見1件、保佐1件、補助0件）

終了件数 0件（後見0件、保佐0件、補助0件）

相談状況

内 容	件数
成年後見制度について	2
申立て等について	0
合 計	2

（3）成年後見講座実施状況

※新型コロナウイルスの影響により中止

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（996,348円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人の権利を擁護するとともに、福祉サービスの利用援助や日常生活の相談、金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活ができるよう支援する。

（1）主な収支状況

県社協助成金	471,748円（収）
利用者負担金	524,600円（収）
生活支援員人件費	596,307円（支）
広報・啓発費用	72,765円（支）
その他事務費・事業費	327,276円（支）

（2）実施状況

契約者数 36名（令和4年3月31日現在）

支援時間数 683時間

相談援助件数（利用者からの相談） 885件

契約状況

新規件数 10件

終了件数 9件

相談状況

内 容	件数
制度・事業について	15
初回相談	24
合 計	39

（3）生活支援員連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
3月24日	ケース検討会	5

訪問介護事業

訪問介護事業（34,877,981円）

▽要介護者へのホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

▽要支援者へのホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）に対し、適切な第一号訪問事業を提供する。利用者が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	23,256,410円 (収)
総合事業収入	7,872,558円 (収)
利用者負担金 (要介護)	2,753,978円 (収)
利用者負担金 (要支援)	987,055円 (収)
職員、嘱託職員、ヘルパー人件費	24,261,592円 (支)
事務所使用料	413,459円 (支)
訪問介護システム利用料	92,400円 (支)
広報・啓発費用	48,510円 (支)
ヘルパーユニフォーム購入費用	831,600円 (支)
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	1,230,420円 (支)
地域福祉推進事業 (法人運営事業・役員会等事業) に繰出	8,000,000円 (支)

(2) ヘルパー派遣 (訪問介護) 実施状況

	活動者数	利用者数	生活援助 (時間)	身体生活 (時間)	身体介護 (時間)
4月	28	40	142	330.5	183.5
5月	23	39	128	326	170.5
6月	25	38	137.5	334	169
7月	28	37	176	339.5	182
8月	28	36	167.5	357.5	159.5
9月	30	40	179.5	336.5	170
10月	30	40	190.5	300	161
11月	27	38	189.5	288.5	161.5
12月	26	39	170.5	256	170.5
1月	30	35	162.5	264	170
2月	28	34	135.5	257	162
3月	28	34	174	309	161
合計	331	450	1,953	3,698.5	2,020.5

(3) ヘルパー派遣 (第一号訪問) 実施状況

	活動者数	利用者数	活動時間 (時間)
4月	27	50	223
5月	30	52	228
6月	29	53	254.5
7月	30	53	257
8月	28	51	226.5
9月	30	50	245.5
10月	31	52	237.5
11月	29	54	249.5
12月	30	57	246.5
1月	29	56	248.5
2月	26	56	245.5
3月	28	54	289
合計	347	638	2,951

(4) ヘルパー定例会（研修）実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に実施する。

開催日	内 容	参加者数
6月23日	認知症について	14
11月24日	虐待防止について	18
12月23日	介護技術向上研修	13
3月23日	永年勤続ヘルパーに対する感謝状贈呈、ヒヤリハットについての検証	26

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業（13, 131, 923円）

▽障がい者（児）へのホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助を行う。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を必要とする人の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う。

(1) 主な収支状況

居宅介護給付費収入	8, 237, 671円 (収)
重度訪問介護給付費収入	819, 420円 (収)
同行援護給付費収入	3, 806, 878円 (収)
利用者負担金	249, 963円 (収)
嘱託職員、ヘルパー人件費	11, 896, 955円 (支)
事務所使用料	206, 730円 (支)
障害福祉システム利用料	132, 000円 (支)
広報・啓発費用	48, 510円 (支)
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	197, 728円 (支)
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	650, 000円 (支)

(2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介護 (時間)		重度訪問 介護 (時間)	同行援護 (時間) ※介護を 伴わない
					※介護を 伴わない	※介護を 伴う		
4月	28	33	7	306	13.5	0	26.5	112.5
5月	26	33	4	298.5	11	7.5	29	74.5
6月	26	35	6.5	306.5	11.5	5	34	145.5
7月	28	35	7	335.5	8	0	31	123.5
8月	28	34	4	295	7	2.5	33	112
9月	28	34	4.5	324.5	11.5	0	32	88
10月	29	35	6.5	317.5	6	2.5	32	109.5
11月	26	36	5	314	2.5	3.5	32	118
12月	25	35	4	293	8	0	39	104.5

1月	25	34	0	297.5	1	0	33	100
2月	24	32	0	289	1	3	31	87.5
3月	28	33	3	333.5	8	0	35	110
合計	321	409	51.5	3,710.5	89	24	387.5	1,285.5

移動支援事業

移動支援事業（1,754,022円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

（1）主な収支状況

市受託金	1,769,139円（収）
利用者負担金	23,371円（収）
ヘルパー人件費	1,086,813円（支）
その他事業費・事務費	267,209円（支）
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	400,000円（支）

（2）ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	移動支援 単独保障型 (時間)	移動支援 単独補助型 (時間)	移動支援 単独介護型 (時間)
4月	8	7	31	6	11.5
5月	8	8	59.5	6	10.5
6月	8	9	62.5	5.5	11
7月	8	9	70	7	12
8月	7	9	57	5	10.5
9月	7	9	57	6	15
10月	7	8	63	6	12
11月	6	8	51.5	5	12
12月	9	9	70.5	5.5	12
1月	7	8	51	4.5	11
2月	8	9	56	6	10.5
3月	8	10	50	5	10
合計	91	103	679	67.5	138

包括的支援事業

包括的支援事業（103,163,417円）

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療など様々な悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

（1）主な収支状況

市受託金	103,140,234円（収）
介護予防支援事業から繰入	23,183円（収）
人件費	55,117,734円（支）

かしはら街の介護相談室委託費	42,600,000円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	958,610円〈支〉
事務所使用料	2,067,298円〈支〉
広報・啓発費用	291,060円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事務費・事業費	2,023,815円〈支〉

(2) 総合相談・支援事業

▽高齢者やその家族等から様々な相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるように支援する。

相談状況

区 分	件数
介護保険	1,776
認知症	1,048
虐待	183
病気	43
医療	141
家族	32
権利擁護	46
生活資金	19
介護予防	10
日常生活	244
ケアマネ支援	38
その他	67
合 計	3,647

※認知症の件数には、後述の認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームの相談件数を含む。

(3) 権利擁護事業

▽高齢者の虐待防止、早期発見、早期対応などを行うとともに、成年後見制度等の利用促進を支援する。

相談状況

	虐待	権利擁護	合計
延対応件数	183	46	229
実人数	24	20	44

※延対応件数は、前述の総合相談・支援事業の相談状況の件数を再掲

▽支援困難事案の情報を共有し解決に向けた検討や、高齢者虐待事案に対する判定を目的に会議を開催する。

困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議実施状況

名 称	回数
困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議	12

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

▽利用者がどのような状況にあっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう関係機関と連携し、継続的に支援できるよう努める。また、地域のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談に

応じ、より質の高いケアマネジメントができるようケアマネジャー同士のネットワークづくりを支援する。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にハイブリッド形式で研修会を実施する。

ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
9月14日	【第1部】 内容 短期集中予防サービスの活用について 講師 平成まほろば病院訪問リハビリテーション 理学療法士 ^{やまもとかずのり} 山本和典 氏 橿原市福祉部地域包括支援課 担当職員 【第2部】 内容 自立支援地域ケア会議について 講師 地域包括支援センター職員	73
10月26日	内容 事例から考える権利擁護支援 ～“利用者を守る・自身を守る”業務に活かそう法律上の知識～ 講師 奈良総合法律事務所 弁護士 ^{ささきいくこ} 佐々木育子 氏	79
3月1日	内容 本人がやる気になるための利用者理解 ～対人援助のプロセスについて～ 講師 兵庫県対人援助研究所 主宰 ^{いなまつまこと} 稲松真人 氏	52
合 計		204

(5) かしはら街の介護相談室との連携

▽社会福祉法人や医療法人の協力を得て設置しているかしはら街の介護相談室との連携を図り、地域における高齢者の総合相談窓口として、より一層の充実を目指す。

かしはら街の介護相談室（小学校区）

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
耳成	橿原の郷	白橿南	桃寿園
耳成南	バンデ（絆）	白橿北	ぼれぼれケアセンター白橿
晩成	あすならホーム畝傍	今井	ぼれぼれ八木西スクエア
鴨公	大和三山	真菅	ぼれぼれ八木西スクエア
香久山	香久山インパレス	真菅北	橿原の郷
畝傍東	大和三山	耳成西	橿原の郷
畝傍南	橿原園	金橋	かなはし苑
畝傍北	あすならホーム畝傍	新沢	西井クリニック

かしはら街の介護相談室（中学校区）※令和3年9月まで

中学校区	事業者名	中学校区	事業者名
八木（北）	大和三山	大成	かなはし苑
八木（南）	香久山インパレス	橿原	橿原の郷
畝傍	平成まほろば病院	光陽	桃寿園
白橿	橿原園		

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ブランチ連絡会を開催する。

ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
4月20日	今後の業務について 他	32
8月17日	基本チェックリストについて 他	27
9月21日	認知症地域支援推進員との連携について 他	35
11月16日	生活支援地域ケア会議の進捗状況について 他	28
3月15日	令和4年度の業務について 他	27
合 計		149

▽かしはら街の介護相談室事業評価に係る現地調査の実施

対象 かしはら街の介護相談室を受託する10法人

期間 2月15日～2月22日

(6) 地域ケア会議

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者が連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を目的に、中学校区レベルで開催される「在宅医療・介護連携地域ケア会議」（4月～9月）、「多職種交流勉強会」（10月～3月）に参加する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
在宅医療・介護連携地域ケア会議	7
多職種交流勉強会	4

▽ケアマネジャーや地域住民等から報告される個別の支援困難事案の解決に向けた検討や、地域の支援体制の構築を目的に、「個別レベル地域ケア会議」を開催（参加）する。

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種において課題及び背景・原因の分析をより深め、要支援者等の自立支援の検討のため、「自立支援地域ケア会議」を開催（参加）する。

個別レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
個別レベル地域ケア会議	10
自立支援地域ケア会議	16

認知症総合支援事業（7,432,700円）

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医と連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

(1) 主な収支状況

市受託金	7,432,700円〈収〉
人件費	6,529,521円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	63,907円〈支〉
事務所使用料	206,730円〈支〉
広報・啓発費用	145,530円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
その他認知症関係事業費	382,112円〈支〉

(2) 認知症地域支援推進員の配置

▽認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族を支援するための相談対応を行う。また、認知症疾患医療センターやかかりつけ医、かしはら街の介護相談室などの関係機関と連携し、専門医の受診や介護サービスの利用などにつなぐための支援を行う。

相談件数 784 件（実人数 107 名）

(3) 認知症初期集中支援チームの設置

▽認知症の早期診断・早期対応を促進するため、複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを設置し、専門医を含むチーム員会議において支援方針を検討する。

相談件数 151 件（実人数 4 名）

認知症初期集中支援チーム員会議実施状況

名 称	回数	検討件数
認知症初期集中支援チーム員会議	2	6

(4) オレンジカフェの開催

▽認知症の人やその家族が集まって、悩みを話したり、介護の情報を得たりする交流の場として「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催する。

日時 第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健福祉センター南館3階 講座室1

オレンジカフェ開催状況

名 称	回数	延参加者数
オレンジカフェ（認知症カフェ）	11	115

※新型コロナウイルスの影響により、感染症対策を講じて実施（事前申込制）

生活支援体制整備事業（1,272,000円）

▽高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進と、提供体制の構築に向け、生活支援コーディネーターを配置する。

▽社会資源の把握のため、かしはら街の介護相談室と連携して、高齢者にとって日常生活に役立つ次の情報を調査し、冊子として作成・更新する。

- ・買い物支援サービス実施店
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗

▽かしはら街の介護相談室の協力を得て、各町の地域特性などの情報を収集し、現状や課題を分析するための「町ごとのアセスメントシート」を作成・更新する。

▽かしはら街の介護相談室の生活支援コーディネーターと連携を図り、小学校区の現状や課題を地域住民と共有するとともに、解決に向けた検討のため、見守り・居場所づくり・つながりづくり等をテーマに、小学校区レベルで開催される「生活支援地域ケア会議」に参加する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	16	172

(1) 主な収支状況

市受託金

1,272,000円〈収〉

人件費	1,080,710円〈支〉
広報・啓発費用	48,510円〈支〉
生活支援サービスの体制づくりのための事業費	142,780円〈支〉

介護予防支援事業

介護予防支援事業（9,613,091円）

▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者が、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう、介護予防ケアマネジメントプランを作成するとともに、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。

▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防ケアプランを作成するとともに、その計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。また、公正中立なケアマネジメントの確保や平時から医療機関との連携に努める。

（１）主な収支状況

介護保険収入	5,518,621円〈収〉
総合事業収入	4,087,931円〈収〉
人件費	8,428,554円〈支〉
介護予防支援システム保守料等	127,815円〈支〉
事務所使用料	206,730円〈支〉
その他事業所運営にかかる事務費・事業費	826,809円〈支〉
包括的支援事業に操出	23,183円〈支〉

（２）実施状況

委託契約事業所件数 68件（令和4年3月31日現在）

介護予防ケアマネジメントAプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	1	40	41	25	562	587	628
5月	1	41	42	20	584	604	646
6月	0	39	39	27	579	606	645
7月	0	38	38	19	583	602	640
8月	0	37	37	18	563	581	618
9月	0	35	35	11	565	576	611
10月	0	32	32	24	550	574	606
11月	1	33	34	37	556	593	627
12月	0	30	30	27	558	585	615
1月	0	24	24	17	546	563	587
2月	0	21	21	20	552	572	593
3月	0	23	23	18	555	573	596
合計	3	393	396	263	6,753	7,016	7,412

介護予防ケアマネジメントBプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	12	12	1	9	10	22
5月	0	15	15	1	12	13	28
6月	0	14	14	2	16	18	32
7月	0	14	14	0	17	17	31
8月	0	13	13	0	16	16	29
9月	0	13	13	0	13	13	26
10月	0	13	13	2	13	15	28
11月	0	13	13	1	16	17	30
12月	0	13	13	0	15	15	28
1月	0	13	13	1	13	14	27
2月	0	13	13	0	13	13	26
3月	0	12	12	1	13	14	26
合計	0	158	158	9	166	175	333

介護予防ケアプラン作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	50	50	31	863	894	944
5月	0	49	49	23	895	918	967
6月	0	44	44	21	908	929	973
7月	0	42	42	33	895	928	970
8月	0	39	39	27	923	950	989
9月	0	40	40	25	937	962	1,002
10月	0	39	39	32	942	974	1,013
11月	0	37	37	28	956	984	1,021
12月	0	39	39	36	934	970	1,009
1月	0	38	38	26	950	976	1,014
2月	0	35	35	38	956	994	1,029
3月	1	33	34	29	986	1,015	1,049
合計	1	485	486	349	11,145	11,494	11,980

(注釈)

サービス区分名

事業名(決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出